

路地百選推薦書

推薦者氏名：井上健一郎

推薦する路地（のまち）の名称		吉祥寺「ハモニカ横丁」		
所在地		東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目		
路地のまちの概要	面積	約3000㎡	路地の延長	約100m
	土地利用の概要	食料品店、飲食店、飲み屋などさまざまな業種の店が立ち並ぶことで老若男女に親しまれている商店街。昭和30年代後半までは店舗の2階が住まいとなっているケースも少なくなかった。		
その他（まちの成り立ち、特色等）	戦後のヤミ市を起源としている。限られた面積の中にとっても多くの地権者が存在することから、再開発へ向けての意見調整が出来ずに存続している。ただ、吉祥寺のランドマークとなった今では再開発の話は全くなくなった。むしろいかに残すかということに議論が集中している。			

【推薦する理由】

戦後のヤミ市を起源とする路地はあちこちで再開発案が持ち上がっており、これから10年も経てばその数は激減しているように思う。そんな中、現在では再開発への話し合いが行われること無く、Hanakoをはじめとする街を題材とした雑誌でも大きく取り扱われることが多く、最も長く生き残りそうなヤミ市だ。

戦後の食料が無ければ秩序も無い時代にハモニカ横丁は形成された。計画的に通路や建物を作ったのではなく、戦後の生き延びることに誰もが必死だった時代に、人間が無意識のうちに創り出した空間だ。人間が本能的に欲した生活空間が路地だった。

終戦直後、人々が生き残るに必要不可欠ではあったものの、皮肉にも「闇市」として避難された一帯は、現在「ハモニカ横丁」として老若男女に親しまれる大変人気のある商店街として存続している。

【写真添付】



ハモニカ横丁西側の入口から